

2012年6月18日宮城県沖の地震の震源付近における M6クラスの繰り返し地震

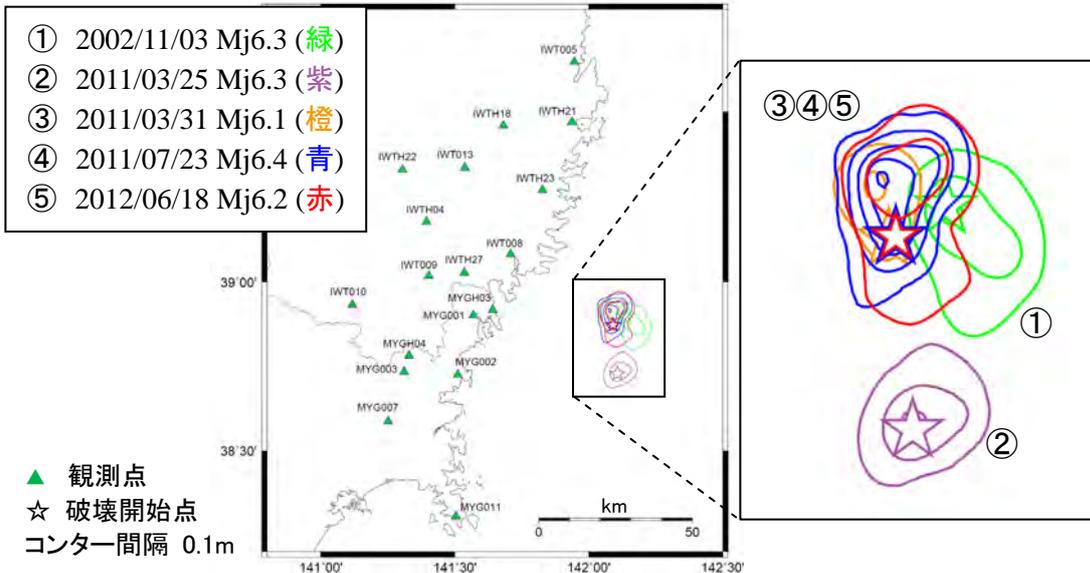


図1. 震源過程解析による①～⑤の地震のすべり量分布

表1. 各地震間のコヒーレンス値 (中央値)

	①	②	③	④	⑤
①	-	0.797	0.796	0.807	0.855
②		-	0.887	0.896	0.854
③			-	0.986	0.930
④				-	0.981
⑤					-

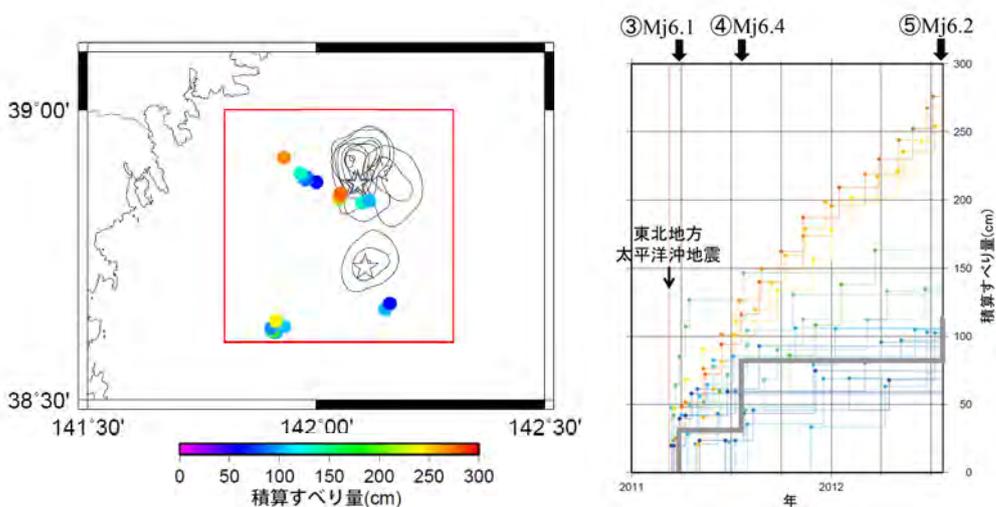
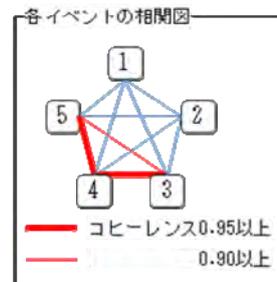


図2. (左) ①～⑤周辺 (赤枠内) における2011年3月11日以降の小規模繰り返し地震の積算すべり量の空間分布。コンターは図1のすべり量分布。(右) 積算すべり量の時系列分布。灰色太線は震源過程解析から求めた③、④、⑤のすべり量の大きな領域における積算すべり量。